



実現への努力を確約する小林、降矢両委員



◁ 地域住民の声を
代表する秋山町長

北越北線にゴーサイン

運輸審議会委員来町

1月26日



バスを降り、松代の地に立ち、
秋山町長とガッチリ握手



駅予定地で小林委員の音頭で“松代町バンザイ”

《人口の動き》 男3,108(-3) 女3,138(-4) 計6,246(-7) 世帯数1,715(+1)
2月1日現在 出生2 死亡6 転入5 転出8



運輸審議会委員一行を迎える

北越北線 66年開業へ

昨年5月11日、松代町で第三セクター設立促進大会が行われ、その後順調に工事再開への足取りを早めた。

北越急行株式会社が八月にスタートし、11月には運輸省に営業免許申請がなされた。

これを受け運輸省では12月20日に運輸審議会に諮問、審議会から1月26日に二人の委員が現地視察のため米町、和やかなうちに視察が行われた。

視察の際秋山町長から委員に対し、地域の豪雪の現状と鉄道

の必要性について陳情がなされ、委員の話では「私たちは鉄道建設実現を確約いたしますので、皆さんは、今後の開通後の運営について工夫、努力をいただきたい。」

特に乗車人数が少なくなるとやっかいなことになります。とのことだった。

この視察結果をもとに1月29日、31日の両日運輸審議会が開かれ、認可に問題なしとして運輸大臣に答申した。

これを受け、2月1日認可のはこびとなった。

更に、2月4日あらかじめ仮申請をしていた工事施工認可申請を提出、2月8日に認可を得た。

認可書によると着工期限は7月31日まで、また完工期限を66年3月31日とし、65年度全線完工が明記されている。

工事施工認可がおりたことによつて、59年度予算の保留分が割当てられ、着工は3月中になるものとみられる。

現在県が中心となつて沿線市町村の地域開発計画が練られる段階に至っている。

走れ！われらの北越北線

町長選挙は5月7日告示

5月12日投票日に

◎ 今回投票のできる人

満20歳以上(昭和40年5月13日以前に生まれた人)で引きつづき3ヶ月以上松代町の区域内に住所を有している人(昭和60年2月1日以前に松代町の住民基本台帳に登録された人)

◎ 不在者投票

投票日の当日仕事などの都合で自ら投票所へ行けない方は、不在者投票ができます。

不在者投票所は役場、不在者投票ができるのは5月7日から11日までの毎日午前8時30分から午後5時まで。

◎ 出稼等で他町村へ滞在の人

不在者投票請求書の用紙に必要事項を本人が記入の上、提出していただきますと、本人宛「投票紙、回封筒」をお送りします。

最寄りの市役所、町村役場等で投票ができます。

(請求書の用紙は役場選挙管理委員会にあります。また四月には区長さん宅にも配布の予定です。)

これからの町の四年間を託す大事な選挙です。

棄権のないようみんなそろつて投票しましょう。

告示日	5月7日
投票日	5月12日
名簿登録基準日	5月1日



水田利用再編第3期対策の2年目である本年は、当町への目標面積が昨年より5.7ha緩和され、84.5haが配分されました。(表1)

◎町では去る一月二十八日に水田利用再編対策推進協議会を開催し、本年度の転作等の推進について協議していただき、次のとおり決定しました。

◎部落別配分面積は、当町の転作形態が定着化傾向にあるところから(表2)、前年度の実績どおり実施した場合、八八・二haとなり、三・七ha多くなる見込みです。このため部落別の配

分面積は前年度の実績面積を基準とし、県からの軽減緩和面積を一定率減らして配分することになりました。(表3)

◎町では預託水田や養魚・レンコン等の湛水作物の転作田と、本年度期間切れとなる転作田が全部で七・五haほどあるところから、これらを水稲の作付けに転換してもらうことにしています。

◎他用途利用米は、市町村の希望により配分されましたが、当町では転作で対応できる見込みであり、昨年と同様、他用途米については取り組まないことになりました。

◎転作奨励補助金の基本額は、前年同様、表4のとおりです。この基本額のほか、地域特産物加算(なす)、団地化促進加算、集落転作加算など転作の集団化を実施した場合につく加算金制度の積極的導入を図っていくこととしています。

◎昭和60年産米事前売渡申込限度数量は、昨年とほぼ同じ八四九四二袋の配分がありました。(表5)

各農家からの予約に基づき配分する予定でありましたが、今年も豊作の昨年に増した出荷を期待しております。

表-4 (万円)

転作	特定作物	3.8
	永年性作物	4.6
一般作物	(野菜)	2.3
	(野)	1.8
保全管理	1.8	
土地改良通年施行(うち特別豪雪地域)	2.3	

表-3 部落別配分面積 (単位:アール)

字名	昭和60年度配分面積	期間切れ	字名	昭和60年度配分面積	期間切れ
松代	448	69	中子	45	
小荒戸	89	1	荳島	141	6
太平	108		田野倉	211	28
菅刈	182	24	仙納	56	
田沢	113		田代	32	
小屋丸	110		助平	316	
池之畑	74		小貫	51	7
下山	202		諏訪峠	79	
千年	521	20	寺田	373	57
池尻	110		名平	124	
会沢	110		蒲生	578	8
清水	232	45	儀明	491	
桐山	343	2	福島	131	4
蓬平	264	10	奈良立	56	11
東山	44		室野	1,037	61
海老	231		竹所	301	2
大伏	277	22	濁	145	2
孟地	112		峠	349	1
片桐山	78		木和田原	159	4
滝沢	127		合計	8,450	384

②「期限切れ」欄の数は、本年度奨励金の交付期間の切れる「保全管理」と「水田養魚」の面積で、配分面積(前年の実績)には含まれていません。

表-1 目標面積の配分 (単位:ha)

	昭和60年度		昭和59年度		前年度比較	
	目標面積	うち他用途米	目標面積	うち他用途米	目標面積	うち他用途米
松代町	84.5	0	90.2	0	△ 5.7	
新潟県	19,820	4,535.5	20,820	3,636	△ 1,000	899.5
全国	574,000	56,000	600,000	56,000	△ 26,000	0

表-2 目標面積と転作の実態 (59年度の実績から推計)

定着カウント	永年性作物	水田養魚	一般作物	計
36.1ha	13.9ha	8.3ha	29.9ha	88.2
(59年まで26.3ha 60年 9.8ha)	(果樹12.4ha 林地 1.5ha)	(期間内)	大豆 4.8、飼料 5.5、 そば 1.4、レンコン 9.0、 小豆 2.5、野菜 6.7	ha
昭和60年度目標面積 84.5ha (59実績88.2-84.5=3.7ha)				3.7ha オーバー

表-5 昭和60年産米事前売渡申込限度数量 (単位:袋)

	60年限度数量	59年売渡数量	比較
うるち	81,942	76,856	5,086
もち	3,000	2,671	329
計	84,942	79,527	5,415

確定申告特集

申告は2月16日(土)から 3月15日(金)までです。



無申告に気をつけましょう

所得税(国税)・事業税(県税)・住民税(町税)は、あなたの一年間の所得を自分で正しく計算して申告することになっており、あなた自身の一年間の総決算ともいえます。この申告は2月16日から3月15日の間に行うことになっていきます。

◎期間を過ぎて申告しますと!!
通常の税金のほかに10%又は、5%の加算税が課税されます。
◎正しくない申告をしますと!!

正しくない申告をした場合は、5%の加算税がかかりますし、故意に不正な申告をしますと35%又は30%という重い加算税が課税されることになっていきます。昨年、税務署が調査した方のうち多くの方に、申告漏れや計算の誤りがありました。加算税、重加算税など余分な税金を納めることのないようもう一度内容を確かめ検討して正しい申告をしましょう。

申告相談日程

をお知らせします。

◎所得税

・高田税務署では2月16日から3月15日まで毎日 午前9時から午後4時まで 土曜日は午前中のみ、日曜日は休みです。
・出張納税相談
対象の方には通知します。

松代町役場で2月16日から2月28日まで行ないます。

◎住民税

3月2日から3月12日まで、対象者及び部落の日時・会場については部落長さんより通知します。役場職員が出張相談に出

ます。
所得税の確定申告をした方は、事業税と住民税の申告をする必

要はありません。



◎還付の申告は

高田税務署では、2月1日から受付けております。確定申告と同様に高田まで出向くのは大変です。ので、便宜をはかるため、松代町役場で次の二日間還付申告を受け付けます。
2月27日(水)旧松代地区
2月28日(木)旧山平、奴奈川地区
午前9時から午後4時まで

納税相談必携品

- 1、確定申告の用紙
- 2、所得の計算に必要な帳簿書類
- 3、給料、年金等受給者は「源泉

- 4、徴収票
- 4、生命保険料、火災保険料、国民健康保険料、国民年金及び農業者年金の保険料の支払証明書など
- 5、印鑑
- 6、その他申告に必要なもの

納税は期限内に

確定申告による所得税は、申告期限と同じ3月15日までですが期限内に納入できないときは、確定申告で納めることになる税額の1%以上を3月15日までに納めると、残りの税額は5月31日まで延納することができます。ただし、延納期間中は年七・三パーセントの利子税がかかります。詳しくは最寄りの税務署、税務相談室又は、役場税務課へお尋ねください。



正しい申告胸張るわが家

おじやまします

小堺電子製作所

小堺電子製作所は大字儀明の国道沿い、長田縫製さんの一軒おいてとなりの鉄骨造アーチ型の建物です。

下は車庫になっていて、二階にあがると二十才ぐらいの若い人がでてきた。

この人が経営者で、長之助商店という食料品店もやっており、去年の三月この世界に進出したとのことだった。

仕事の内容をおうかがいしたいのですが。

私の所では去年三月から柿崎町にある共栄電工さんの協力工場というところで仕事をもらっているわけですが、エアコンのりレーを作っています。

従業員は何人くらいですか。みんな部落の方ですが現在七人でやっています。他に松代、蒲生に内職をお願いしています。

当初ラインを組んでやりたいということでも募集をしたのですが、人数がなかなか集まらなくて。

この冬の雪の影響などはありますか。

寺田部落にお願いしていた内職がだめになってしまい、その分、皆さんが忙しくなっている状態です。

また、一端内職に出して回収し手を加え、また内職に出すというところで、この納入、回収に回るのが大変ですね。

就業時間はどのようになっていますか。

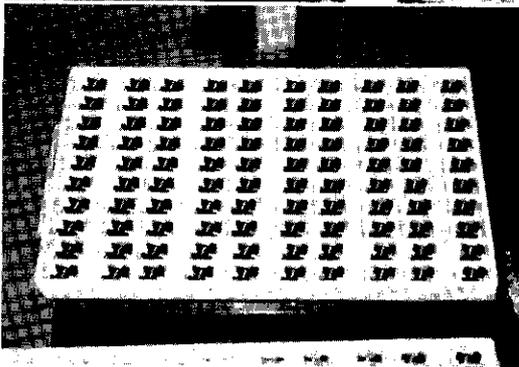
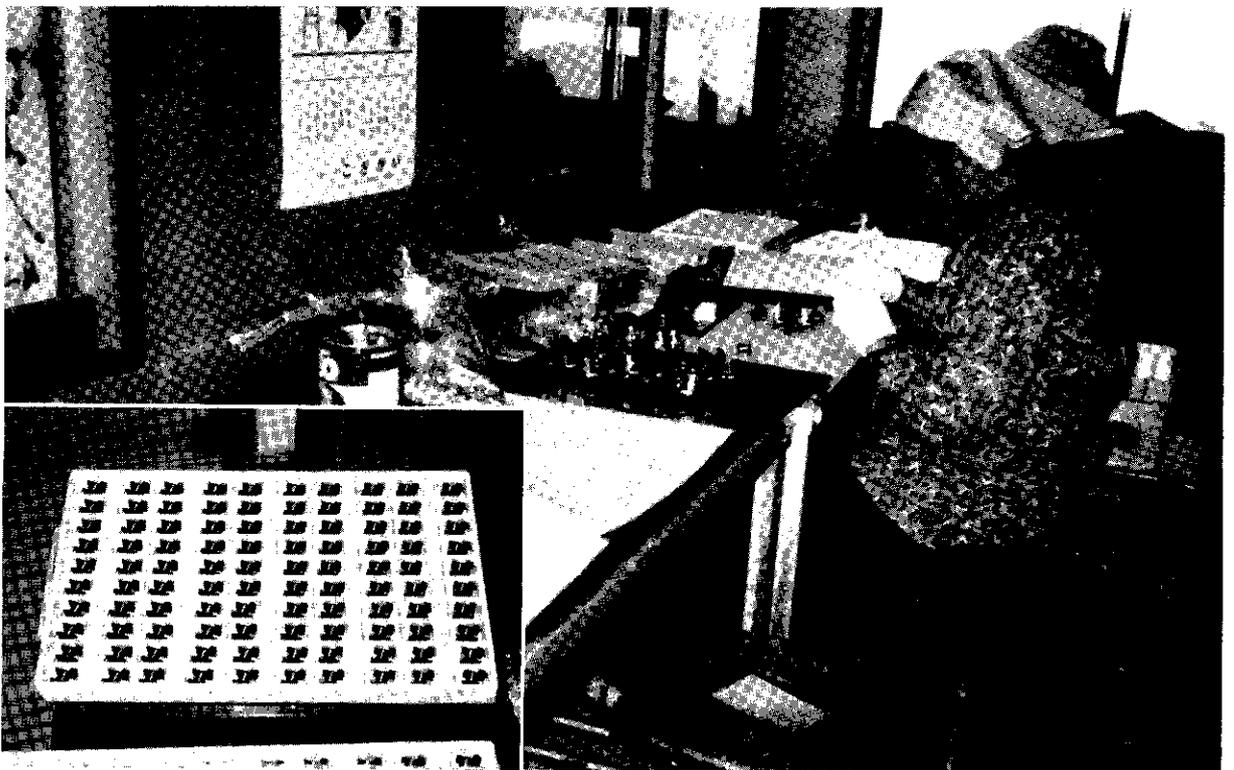
八時から五時までとなっていますが農繁期になると人員の確保がむずかしいですね。

これからの展望はどうですか。弱電関係の工場は沢山進出していますが、私が仕事をもらってからも、同工場の協力工場が続々でき、六社くらいを数えています。

下の車庫を改造し、ラインを流したいのですが、なかなか人手の確保がむずかしいですね。

工場内に入ると、明るい照明の中で、皆さんがそれぞれの仕事を黙々とやっていた。

工場内の作業室のとなりには畳敷の部屋があり、コタツの上茶道具があった。



休憩時間にはここに集まりお茶を飲みながら仕事の話に、世間話に話はずんでいるのだから。

部落紹介シリーズ ②②
 諏訪峠部落紹介 (紹介者 桜沢一郎氏)

「空ひびき、土ひびきして吹雪する寂しき国ぞわが生れ国」

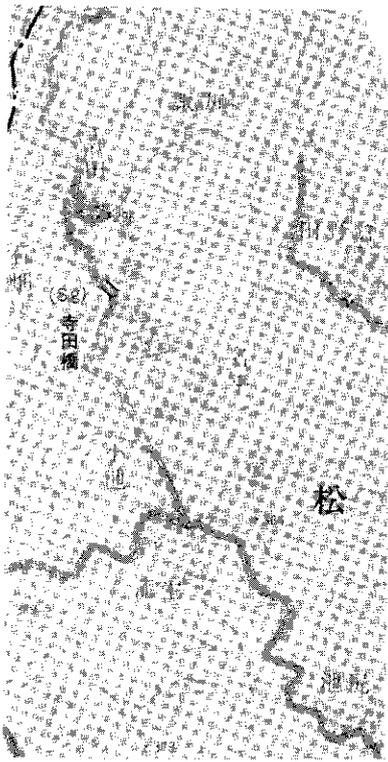
北魚沼、堀之内町出身、芸術院会員の歌人、宮柊二が故郷を詠んだ歌である。

記録にもない、二年続きの大雪山、今年は暖冬だとの予報だったのですが。私の村諏訪峠の荒廃をもたらした、いくつかの原因の一つにこの雪があったのです。ブナ林に囲まれ春になれば雪の中からブナの芽吹きすばらしい鮮やかな黄緑が萌える平和な、そして静かな村だったので、農業よりもなにか新しい産業の方が羨ましい、いいんじゃないかと勘違いする人が多

かったのではないのでしょうか。さて、お隣り部落は田野倉、筋平、小貫、寺田、名平であり最も近いのが寺田であり、諏訪神社から寺田入口の家まで約三百米程です。これで大体位置はおわかりでしょう。

さて諏訪峠の地名ですが峠だともっと山の上にある様に考えられますが不思議でならない。昔はもつと山の上にもあつたのかなあと思っていますがおわかりません。

昭和初期から三十四年まで諏訪峠は桜沢姓が二十三戸、中沢姓が七戸計三十戸でした。祖母から聞いた話ですが桜沢の先祖



は、信州善光寺附近から流れて来た落武者との事であり、R一七、R三五三から入って来たものと思われまます。そして菩提寺は松之山の観音寺でありますし、その本寺は信州にあります。又信州栄村及び津南町に桜沢の姓があり長野電鉄に桜沢の駅名もあるし、昔からの伝言で文書もないが大体間違いないと思えます。中沢家は屋号又右衛門(明治か大正の頃離村)が一番古い本家だったとの事ですが全くわからない。

寺で昔火災があり、私の先祖はわからないのだとの事です。しかし現在ある過去帳では一番古いのが宝永三年(一七〇六年)十月十一日、九郎右衛門父とあり、その亡くなった人が五十才まで生きたとすると後西天皇の明暦二年(一六五六年)頃の生まれとなります。昭和三十四年、倉の改築をした時二階に壘半枚程の立方体の黒いすすけた箱の中に古い文書が一杯あり、ねずみがかじったりそしてしっかけていたり、恐る恐る手伝いの人達と一番上の方から出して来たのが、明和

三成年(一七六六年)九月越後国頸城郡小池村新田検地水帳で箱の下にはもつと古いのがあつたと思えますが豪雪で倉の入口をふさがれ御紹介する事ができず残念です。又十数年前諏訪神社の屋根替の時発見されたのが一枚の棟札でした。以前は村の最高峰に祠られてあつたのですが、地上りのため現在地に造替されたのです。表に奉造替諏訪大明神宮殿とあり天保十二年(一八四一年)八月十八日越後国頸城郡松野山郷諏訪峠村そして当社神主宮沢播磨正茂廣と書かれてあり

裏面には、産子桜沢市良治を筆頭に分家の新屋、紙屋、田中、中沢家の坂口、七兵衛天屋原の代表、田辺庄八(屋号惣平治)の当時七人衆と呼ばれた昔の重立の名が書かれその下に、大工田嶋村吉五良外三名木椽二名、産子小前二十三名の名が書いてあり当時諏訪峠は三十戸あったのが証明されたのです。

これはあくまで笑い話として聞いて、いや読んで下さい。現在上越市に移住された中沢清一郎氏によれば、昔小貫の屋号下から松代に移られた柳丹助氏(和泉舎)が諏訪様を大変信心されて居られ松代に諏訪神社を建立されたとの話です。私は終始ニコニコ笑って聞いて居りましたが、今の若い人なら「エツノウツソォー、ホント」と驚く様なお話です。

さきの検地水帳と一緒に明治五年の戸籍調査書があり表紙は破れわかりませんが最初の頁に越後国頸城郡小池村二百五番屋敷住居。戸副庄屋兼桜沢清一郎とあり最後は二百二拾二番池田久蔵(旧小池屋号新屋敷)ですが、当時蒲生の松泉寺は小池村にあった様です。

これも一緒に発見した、代官大草太郎左衛門に提出された小池村耕地絵図に加宿のすぐ横に

松泉寺と明記されており、中沢

田辺、寺田の高橋家の戸籍の末尾に寺、富村曹洞宗松泉寺と書いてあるし、最後の頁には松泉寺第二拾一世知法三十二才隠居智海六十五才兄輩緑四十四才とあり戸数百拾九曹洞宗々寺人員七百九拾六人と記されてあります。

又明治七甲戌年七月の戸籍下調毎戸主書出張には新潟県管轄第十一大区小三区七番組小池村用掛桜沢清一郎とあり、その当時の諏訪峠は桜沢姓が十八戸中沢姓八戸、天屋原の中沢姓五戸、田辺姓三戸、計三十四戸で人口は二七人の大世帯でした。

参考までに小貫十二戸、寺田三十二戸、石畑十六戸、小池二十四戸計一八八戸、当時の旧山平では小池村は最大の村でした。その後大正始めから明治の末

に天屋原が寺田に編入され諏訪峠は昭和三十四年始めて一戸転出し三十五年国勢調査では、二十九戸、人口一五七人となり四十五年二十四戸、〇〇人、五十年十四戸三十九人、五十五年七戸十九人と三十年代後半以降はまさに坂道をころがり落ちる様に流出が進み特に四十六年高度成長経済のらん熟期、そしてその年始った米の生産調整、若者の流出の高齢化、おまけに我が

国屈指の豪雪地帯、これが農業

に対する意欲の減退となつて、その後は毎年一戸又、一戸流出し大字松代に移住した三戸の桜沢と私共だけになりました。国際保護鳥佐渡の「とき」の運命と同じになりました。

しかしながら「ネアカ」なのか別に寂寥感はありません。何故ならば、それはすぐそこに寺田の部落があるからです。

昔から両部落は戦前の日本と満州国の様な友好関係にあり現

在も変っていないのです。

村の残された水田には田野倉方面から請石川を渡ると町道沿線には、蓬平、田野倉、寺田、筋平、松代そして道下に大きな養魚池を掘り錦鯉を飼育している人も居り、村の入口まで見事な水田が続いており農道にも松代や寺田から又、ムラの中の田

や畑にも寺田から来られて居り、その中には松代町では一流企業

の重役や管理職も来ておられ、それらの人達は、趣味と健康と

実益を兼ねて余暇を楽しく利用

しておられ感心させられます。又四十八年から小型圧雪車が配置され冬期間孤立する心配もなく五十年にL十五米、W五米の家の下橋が永久化され五十二年には部落内改修及び、舗装工事が四年かかって完成し、県や町に感謝しありがたく思つて居ります。

昔からの小村故、人材等ある訳がない。しかし小中学校の校長先生なら私の一族で祖父、弘

(長姉夫婦に子供がなかったの未娘(七女)の祖母に十日町の榊丸山工務所より婿さんに来た)父清、その弟金沢真平、(旧姓桜沢)儀明の小界勇次郎、寺田の五十嵐松蔵(旧姓井上)田

麦の内山貞勝、栃ヶ原の菅井甚一、この四人の人達はみな祖母

の実姉の子供であり、集まるとみな面白い人達でした。

さて現代産業の最先端をゆくIC工場が相次いで町内に設置

されつつある。この傾向は二十

一世紀にむけさらに広がることは明らかであり、又バイオテク

ノロジーを使って牛や米の品種改良を目指す研究が始められ、

もうかる農業も、目の前にぶら

さがっている。

農業後継者のみなさんの御健

斗を祈り乱文の紹介を終わります。



距離陣大かつやく

おもなスキー大会の結果から



全国高校スキー出場選手



万羽琢哉選手

選手のこれからの活やくに声援を送りましょう。

中学生

牧田 義明 男子10 km 6位

1月23日県中学校スキー大会

(十日町市)

高校生

小堺 敏明 男子15 km 5位

松代高校 (柳浩三・小堺敏明・

富沢政彦・柳治)

男子リレー 3位

1月23日、24日県スキー選手

権大会(妙高高原町)



富沢政彦選手



小堺敏明選手

大学生

万羽 琢哉 男子15 km 3位

1月17日全日本学生スキー大会

県片品村)

小堺 敏明 男子15 km 18位

2月22日国民体育大会(群馬

県片品村)

2月7、9日 全国高等学校

スキー大会(福島県猪苗代町)

大会(妙高々原町)

万羽 琢哉 男子15 km 3位

2月22日国民体育大会(群馬

県片品村)

佐藤 純一 男子15 km 4位

1月24日25日県スキー選手権

大会(妙高々原町)

万羽 琢哉 男子15 km 3位

2月22日国民体育大会(群馬

県片品村)

富沢 政彦 男子15 km 8位

小堺 敏明 男子15 km 13位

松代高校(富沢・小堺・柳浩

柳治) 男子リレー 18位

2月7、9日 全国高等学校

スキー大会(福島県猪苗代町)

大会(妙高々原町)

小堺 敏明 男子15 km 18位

2月22日国民体育大会(群馬

県片品村)

(妙高々原町)

万羽 琢哉 男子30 km 1位

男子50 km 1位

佐藤 純一 男子15 km 4位

1月24日25日県スキー選手権

大会(妙高々原町)

万羽 琢哉 男子15 km 3位

2月22日国民体育大会(群馬

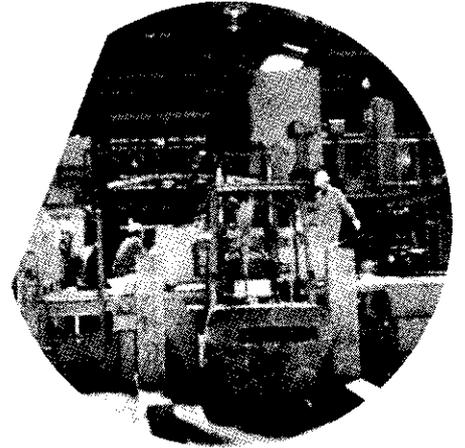
県片品村)



出稼者リーダー
現地で開かれる。
会議

2月10日
東京地区

2月17日
名古屋地区



今年の東京地区出稼者リーダー会議は連休にもかかわらず五十名以上の出席を見、千代田区の薬業健保会館において二月十日九時半より開催されました。町からは町長、産業課長、担当者が出席それに「まつだい農協組合長、参事と県からは東京駐在の出稼相談員がそれぞれの立場からいろいろなお話をし、質疑応答もあり約二時間半熱心に会議が進められました。故郷を遠くはなれた出稼者の今年の関心は、なんとといっても積雪であり、又、マスコミを通

じて知る、北越急行問題でした。午後一ヶ所、翌日は千葉県の二ヶ所、三日日は埼玉と、それぞれ各事業所を訪問、働く現場といろいろな面に出稼者への便利を図ってもらいたいお願いやら、来年の雇用を依頼するなどし、十二日帰省しました。現場では皆元気がいっぱい、昨年より上向き企業のなかで、生き生きと仕事をしておられました。尚町では十七日、名古屋地区のリーダー会議を開催し、十九日まで、それぞれの事業所を訪問する予定になっています。

選挙ひとくちメモ

選挙権

①

地方公共団体(県・町)の議員首長の選挙に投票する権利を得るためには

- ① 日本国民であること。
- ② 年齢満二〇才以上であること。
- ③ 引き続き三月以上その市町村に住所を有すること。

市町村の選挙権を有する者はその市町村を含む県の選挙権も有することになります。

ほかの市町村へ住所を移したときは、地方公共団体の選挙権がなくなり、新住所地で引き続き三月以上たつたとき改めて新たな選挙権が生じることになります。

移転先の市町村が同一都道府県内の市町村であるときは、市町村の選挙権はなくなりませんが、都道府県の選挙権はなくならないこととされています。

奥さま防災博士表彰式

主催 一般社団法人日本損害保険協会 後援 消防庁 全国消防長会

第十三期



奥さま防災博士

池尻の室岡一恵さん

日本損害保険協会主催、消防庁ならびに、全国消防長会後援による「第十三期・奥さま防災博士」に池尻の室岡一恵さんが応募（紹介者、東頸消防署長）され全国一八六名が応募、三十六名が選ばれるという厳しい選考のなか、室岡さんの家庭における防災責任者としての強い自覚と、地域防災運動に対する積極的な協力の姿勢が特に優秀で

あると認められ、第十三期奥さま防災博士として表彰されました。

表彰式は去る一月十九日東京の京王プラザホテルにおいて、消防庁長官や全国消防長会々長他多数の来賓、出席のもと挙行され、室岡さんも出席され受彰してきました。

応募作品をご紹介します。

今日も今夜も火の用心

防災シリーズ

33

日常生活の中に

防火の工夫を

室岡 一恵

我家は両親、主人と私、子供二人（小学生）の六人家族です。朝六時「ごはんですよ」の私の声で一日が始まり、農業に、勤めに、学校にそれぞれの立場で頑張った日も暮れて皆が眠った後、風呂の焚口を、ガスの元栓を戸締りを点検して私の一日も終ります。

「泥棒に入られても家まで持つてゆかないが、火は家毎灰にしてしまう。だから火事は怖い。気を付けなければいけない。」これが私の小さい時からの母の口癖でした。その頃の私の家は囲炉裏があって、かまどをたいて、風呂は薪でした。今はスイッチ一つで火がつかお湯が出ますがだから火に対しては特に口うるさく厳しい母でした。「うるさい、うるさいなあ」と思いつつながら育った私も今では嫁いで二児の母、一家をあずかるようになってきました。最近、母の口うるさく言っ

ていた気持が母と同じ立場になつてみてはじめてわかるようになりました。

「ガスの元栓は、しめたか、ストーブは消したか、こたつのまわりに紙くずを散らかしてはいけない。」私も結構口うるさいお母さんのようです。

私共、雪国に住む者は、冬、火災にあつても窓からすぐという訳にはいきません。まして今年のように六メートルを越す豪雪の年は特にそうです。

玄関一つが唯一の逃げ口になります。ですからどんな大雪の時でも玄関だけは、大きく広く開けておくようにしています。

もしもの時には荷物を持たずに、まず逃げる事。又、特に大切なものはいつでもすぐ持ち出せるようにしておくのも我家の防火対策の一つです。子供も皆袋の中に「これは私の大事なものです。」としてまとめておくようにです。それぞれによって大切なものは違うようですが。

町や分道所主催の防火懇談会や消火器の講習会にも家中で参加するようにしています。消火

器やチューリップの消火剤も常に用意していますが、先日私が料理に油を使っていましたら、何かの拍子になべに火が入ってしまった。幸い大した事なくすぐ消えたのですが、テレビを見ていた下の息子がびっくりして飛んで来て「お母さん、チューリップを使いなよ、すぐ消えるよ」と言った後、真険な顔で言うんです。「お母さん泥棒は、家を持つていけないけど、火は家を見んなもやしちやうんだよ。気をつけなければ、だめだよ」と。

「誰にそんな事を聞いたの」と聞いたら「いつもお母さんうるさく言ってるよ」と言われました。母の事をいつもうるさい、うるさいと思つていた私も、いつの間にか子供達に同じ事を言つていたのかと思ひましたら、何だかおかしくなって、笑つてしまいました。けれど、火事を出さない為、今の家族の幸せを守る為なら、これからも我家のうるさいお母さんでいるつもりです。

信頼の輪を

広げよう

柳 一郎

今の子どもたちは大人になりに
たがらないという。少し前のN
HK世論調査の資料によれば、
こういう子どもが何んと四分の
三にも上っているということに

驚かされます。その理由は、大人
は大変だし大人になることへの
不安からであり、もう一つは、
大人はずるいとか勝手だとかい
う大人に対する不信感からです。
親や周りの大人をみて抱く子ど
もの実感であろうと思います。

ところで、別の面から考えて
みますと、こういう気持を抱か
せるということは、今日の過保
護の養育によって、幼児期の子
どもが、何でも思い通りになる
ものと思ひ込んでしまうことか
ら発しているように思います。

過保護に育った子どもが、一
転して思春期の厳しい条件が増
し、障害に直面するに従い不安
は強まり、それだけその試練は
耐えられないものとなり、逃避

的な感を持ち始め、ひいては
ろんな問題行動を呈するよう
なるのではないのでしょうか。

子どもの問題行動として、さ
まざまなものがあげられ、深刻
化しています。その非行の増加
ぶりは、それを引き起こす背景
がそれだけ強まり、低年齢化の
傾向は、すでに早くから深刻な
事態に巻きこまれつつあること
を示すものです。

新たな問題行動も次々と現わ
れています。登校拒否、家庭内
暴力、校内暴力などです。教育
熱心なわが国、子どもを大事に
し、至れり尽くせりに世話をや
く親、それを否定し憎悪するよ
うな深刻な事態をどう考えたら
よいのでしょうか。

これらの原因は多岐にわたる
と思いますが、重要なものは、
家庭における親の養育態度にあ
ると指摘されています。
青少年問題審議会の或る委員

はこんな話をしています。
「非行はたしかに多様です。し
かし非行の根は一つ、基本的な
人間の信頼関係が失われている
ことです。それから学校でも家
庭でも情緒が不安定なことが非
行の大きな原因ですね。」と

情緒の安定は子育てに大いに
関係があります。三才までの子
どもの育ち方に原因があり、保
護者によって一貫して育てられ
た子どもは、親との間に信頼感
があり、情緒も安定していると
付け加えています。

子どもにとって最初に獲得す
る信頼感は親との間で。生ま
れたときからの日常の子育ての
親子の関係からです。子育てが
人間形成の基礎をつくるのです
それに、家庭内部に情緒不安定



をもたらず状況がないか、両親
家族みんな考えてみることに
大切だと思います。

両親が一致して一貫した子育
てが大切なことですが、最近特
に父性の欠如ということが言わ
れています。父親に元来要求さ
れている権威と力が欠如し、こ
れを補おうとして母親の過干渉
となり、いろいろな問題をひき
起こす要因ともなっています。
父性の強化と、母性の回復が強
く望まれます。

社会の急激な変化の影響から
か、最近農村でも家庭労働を手
伝うことがうすらいできました。
家事を手伝わせながら、生涯必
要なものを身につけることがで
きるのです。年齢に応じた労働
と役割を与えることは、健全な
発達に欠くべからざるものです。

親子の信頼の輪は家族からし
だいに仲間へ、社会へ。家庭で
培われた健全な子どもが、やが
て明るい社会を築いていくこと
を期待しています。

地域ぐるみで進めよう

「環境浄化運動」

近年ますます
青少年非行が増加し、それも年
少者に移行していると言われて
おります。

幸い当町では非行問題は顕著
には表われていませんが郡内で
は中・高生の不良行為が広まり
つつあります。そこで郡内の婦
人会、商工会、民生委員、警察、
青少年育成町村民会議など十五
団体で地域環境浄化懇談会（事
務局東頸城社会福祉事務所）を
開催し東頸城の青少年非行防止
に取り組むことになりました。

郡内には非行化に悪影響を及
ぼすポルノ雑誌の自動販売機が
二箇所設置されていますが、い
れも最初はコーラ等の清涼飲料
水置き、その後ポルノ雑誌を
置くようになっております。

当町にも早晚設置される懸念
もありませんので町外の業者から
土地の借用や店頭への設置依頼
がありまして地域の子ども達
を悪書から守るために絶対に受
け付けられないようにしていただき
地域ぐるみで非行化防止に御協
力お願いいたします。

あなたは

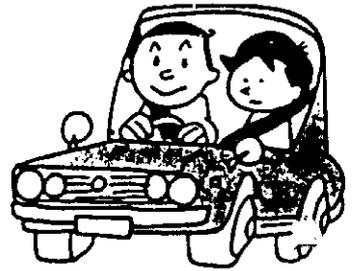
車の点検整備を

していますか



安全運転

シリーズ ⑳



女性の四人に一人は

ボンネットを開けたこともない

女性ドライバーの皆さん、最近、車のボンネットを開けたことがありますか？

ここに興味ある数字があるので紹介しましょう。ある自動車関係団体で発表した「オーナードライバーの「自動車整備」に関する実態調査」がそれです。この調査によると、車を買ってからボンネットを全然開けたことがないという女性は二四・七％。男性は四・六％ですから、いかに女性がボンネットを開け

ないかということが分かります。また、「車についている工具を最近使ったことがあるか」という質問に対しては、女性の場合約六〇％の人が全然使ったことがないと答えており、「あまり使ったことがない」と答えた人を合わせると、なんと九〇％近い人が工具に触れていないのです。

このデータを見る限り、女性は点検整備にかなり無関心になっているといえます。

小さな故障でも

大きな事故をひきおこす

最近の車は「完成度」が高くなり高く、突然エンジンが動かなくなるというような大きな故障は少なくなっています。そのせいか、つい整備を忘れてしまう人が多いようです。

しかし、小さな故障が人命にかかわる事故を起こすこともあるのです。

例えば、ブレーキランプが切れた車を運転していただきます。突然急ブレーキを踏まなければ

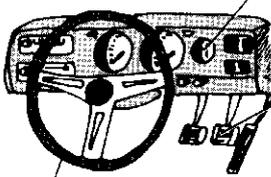
ならない事態が起こり、思い切りブレーキを踏んだ。しかし、ブレーキランプがつかなくなったので、後続の車にぶつけられてしまう。整備が不十分だと、こんなことが起こらないとも限りません。

思わぬ事故に遭わないために、車のボンネットを開けてエンジンを見たり、車の周りを点検するなど十分な整備を心がけてください。

ボンネットを開けてみませんか簡単にできる整備のしかた

車のボンネットを1度も開けたことのない人に、いきなり整備をなささいといっても、それは無理な注文です。おぼつかしい整備は専門家にまかせるとして、簡単にできる点検方法を紹介します。

運転席の周り



燃料計

燃料計 ▶ 燃料は十分入っているか

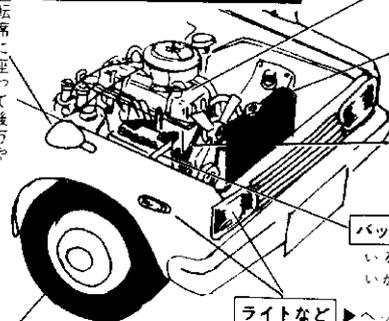
ブレーキ

ブレーキ ▶ あそびが適当か ▶ ペダルを踏み込み、床板とのすき間があるか。また、踏んだとき、やわらかく感じたり硬い感じがしないか(やわらかく感じるときはブレーキ液に空気が入っているのので整備工場へ整備してください) ▶ 低速で走り、ブレーキのききが十分か、片ききしていないか

ハンドル

ハンドル ▶ あそびが大きすぎないか ▶ ハンドル全体が上下左右、前後に動かないか ▶ 走ってみて、ハンドルがふらつかないか

ボンネットの中や周り



エンジン

エンジン ▶ エンジンオイルの量は適当か

ラジエーター

ラジエーター ▶ 水は十分に入っているか ▶ エンジンを動かしても水が漏れないか

ファンベルト

ファンベルト ▶ 張り具合は適当か ▶ ヘルトにキスがないか

バッテリー

バッテリー ▶ 液は十分に入っているか ▶ ターミナルのゆるみはないか

ライトなど

ライトなど ▶ ヘッドライト、ブレーキランプなどがつかないか、また方向指示器は動くか

タイヤ

タイヤ ▶ 空気圧は適当か ▶ 極端にすり減っていたり、キズやタイヤの溝にクモリや異物がはさまっていないか ▶ 溝は十分にあるか

自分の手で車の整備をすると、だんだん愛着がわくはず。そして、おかしな箇所も早めに発見できるようになるでしょう。

特に女性の皆さん、車のボンネットを1度開けてみませんか。

*あそびとは、各種装置を操作しても、操作が伝わらない範囲をいいます。あそびの大きさは各メーカーにより異なりますので、パンフレットをよく読んでください。

機械設備の 投資を計画されて いる企業諸君へ。

り一ヶ月早め三月一日から開始
します。

設備価額	貸与損料 利率相当分	返済期間	申込期限
二〇〇万円以上	年五%	四年半	申込総額が事業予算枠に 達するまで
二〇〇万円以下			
二〇〇万円以上	年五・五%	七年	申込総額が事業予算枠に 達するまで
二〇〇万円以下			

なお申込者の資格要件など、
詳細については役場産業課又は
直接公社へお問合せ下さい。

新潟市西堀前通二一七一―五六
財団法人新潟県中小企業振興
公社
TEL
〇二五二(二二〇〇二五

公民館図書 新刊案内

○越後と佐渡の一揆

近世初頭から明治前期にか
けての新潟県内で発生した一
揆・騒動の全容を紹介。

○過疎を逆手にとる

限りなくしなやかでしたた
かな。まちづくり。モノマネ
でない本当の豊かさとは何か
人間疎外の時代に鋭く問いか

ける書。

○ぼくらの世界

ユーモアにあふれたやさし
い世代のしなやかな感性で描
く長編青春推理。

○家族ゲーム

苛烈な受験戦争の中に描く、
おかしくも感動的な物語。

気象よもやま話 (12)

除雪と融雪

万羽卓司

戦後のある冬、東京都民と、
進駐軍とで、雪消しの競争をし
たことがある。スコップとトラ
ックの都民対火炎放射器の応酬
で、進駐軍は函がたたなかつた。

雪国では、昔から雪の重圧に
耐え忍んできた。今日では、耐
雪から克雪へ、更に利雪へと懸
命の努力が払われている。雪処
理の根本は、必要の場所から、
雪を排除するか、融雪するから
である。雪処理に必要なエネルギ
ーを理論上求めた数値がある。

表中の(1)は、一〇〇キログラム
の雪を、スノーダンプで一五m
さきの流雪溝まで運搬するエネ
ルギーを、(2)は、ロータリー投
雪機にて同じ距離を投雪する方
法を、(3)は、融かして流す方法
の場合である。(1)、(2)によるの
が全く経済的である。(3)の熱源
には、太陽または地下水の汲み
上げがもっとも経済的であるが、
太陽は冬季にはあまり期待でき
ないし、地下水の汲み上げは地
盤沈下が問題になり、汲み上げ
制限を加えている。燃料の燃焼
は、高価な上に、大気汚染が心

配されるし、電力は最も高価に
なる。

最近研究され初めたのは、地
下水と、ヒートポンプの併用に
よる融雪である。ただ、経済的
に引き合わないため、普及はま
だだである。

現在、最も効果を挙げている
のは、長岡市の道路融雪である。
しかし、最盛期には、二四時間
に七〇万立方mの地下水を汲み
上げるといふ。この量は、新潟
県民総人口の一日の生活水に匹
敵する。それに含まれる総熱量
は、ドラム缶五五〇〇本の灯油
の燃焼熱に等しい。

松代本町通りは、恵まれた地
形と、沿線町民の努力をバック
に、県内まれに見る無雪道路と
なっている。

(表) 100キログラムの雪処理のエネルギー比較

雪処理方法	エネルギー (キロカロリー)	比 (スノーダンプ を1として)	率
(1) スノーダンプ (15m)	0.35	1	
(2) ロータリー投雪 (15m)	1.72	4.9	
(3) 融雪	8000	22860	

(栗山 弘、雪の科学と生活)より

今後は、各戸の屋根の除雪が
真刺に考えられなければならな
い。現在いくつかの改良が行な
われているが、設備や、経費の
面で普及するに至っていない。
克雪から利雪への道はまだ遠
い。ここに生まれ、現在生活し
ている郷土を、築土とするため
に、まだまだ頑張らなければな
らない。

戸籍の窓口

一月受付分

げんきなよい子に(誕生)

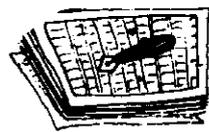
卯山あゆみ 父重信 母あけみ
(長女・室野・沖見屋)

ご冥福を祈ります(死亡)

菅井トイ 86歳 名平 宮之脇
山岸タツ 84歳 蒲生 清水端
関谷マサ 86歳 池尻はげんと
若月ツトム 60歳 田代 水上
村山キヨ 71歳 室野 中津根



文芸



短歌 喜寿近う

下山 埋れ木

除夜の鐘響きは耳朶に残れども
光陰の速さ睦月過ぎけり

去年うけし深き誼を胸にこめ貴
台にまいらす初春のふみ

一年の十二分の一の日は去りぬ
只ひたぶるに雪と闘う

心のみ童のごとく逸れども五体
衰えて喜寿迎えたり

長くもなき余生と思えど耐えが
たく齒の治療音は複雑にきこゆ

吹雪く日の屋根にのぼりて寒風
に笠をかして暮婦の雪ほる

しづみ句会

元朝や雪踏むことも念入りに
篝火の照らす参道初詣

淡水

屋根雪をおろして二日終りけり
産気づく牛のはく息太く白し

悠歩

週三回雪下して年迎う
おだやかに鶏足山の初日かな

立石

初売りの縁喜と手拭添えてあり
豆殻をくべ足し客をもてなしぬ

枯水

勝栗を飾る陰膳妻の病む
妻見舞う病院の窓初日影

炳史

標の凍てつきしまま解かずま
大雪に耐ゆる笑顔も少しなり

紅茶

初春に宮のともし灯輝やけり
この家に伝わる屠蘇の小盃

一元

初鍛冶や槌音澄んで暮色かな
大雪となりし初荷を背で運ぶ

澁舟

大晦日久々仰ぐ日の光
寺年始終えて静かな庫裡となり

八千代

雪に明け雪に暮るるや留守居妻
シクラメン寸暇の日差しに鉢う

きくよ

此の年も仕事始めが雪おろし
年明けて床の置物牛となり

記沙

雪雲の去りて朝日の輝やけり
軒下に雀の寄りし二羽三羽

美根

朗誦の声に彩あり初句会
除夜の鐘聞いて喜寿の屠蘇をく

常仙

雪拂う音に賀客の来るを知る
久方の日差しに標下しもして

草人

御降りを両手で受ける五十路哉
一鉢の梅に冬陽を集めけり

公明

渾身の龍の一字や筆始め
子が育ち夫婦っきりの雑煮餅

六花

蒲生句会

歯切れよく沢庵噛みて素直なり
日が笑うマスクの顔が近づけり

月日

冬越しの汀油かぞえて寒に入る
みの虫につららの光る年納め

耕人

着ぶくれが道を塞いで立ち話
凍み解けて村の、日暮れにけり

折人

隣り家にはや薄陽さす初時雨
御詠歌の鈴鳴る窓や雪明り

ふさ女

病棟に聖尼と会えりクリスマス
妻の試歩日々には伸びゆき冬麗ら

耕山

嵩のなき蒲団を土工折り返す
影までが凍つる夕べの焙高炉

鐵堂

立春の夜なりと雪は舞う如し
牛の名子の名雪に生きると年賀

龍峰

園芸一口メモ

|| 松代園芸愛好会 ||

樹形のいろいろ

(6) 文人

一筆書きの墨絵のように、型にはまらない軽快な樹形で、幹は細く、丈は高く、ゆるやかな曲線を描き、樹冠近くまで枝をもたない、いかにもしゃれた風流な、いわば文人好みの趣きと気品に富んだ樹形です。和室にも洋室にもよく調和します。

幹

幹は細く、背が高く、軽やかな、すらりとあかぬけた感じをだすようにします。

枝

枝は樹冠近くに、つまった枝が三段くらいついています。落ち枝や差し枝のよく効いたものが尊ばれます。

樹冠

樹冠はこじんまりとまとまっています。

文人にむく樹種

クロマツ、アカマツ、ゴヨウマツ、エゾマツ、サルスベリ、トシヨウなど

根張り

力強い根張りは不要で、すんなりした立ちあがりが大切。



文人づくりのアカマツ